

お知らせ

女性人材リスト登録者募集

蓮田市では、市政や地域の発展に積極的に参加していただける女性を募集しています。応募していただいた方は、「蓮田市女性人材リスト」に登録させていただき、市の審議会や委員会等の委員等を選出するときの資料として活用させていただきます。

問合せ 総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

講演会のご案内

男女共同参画社会づくり講演会を開催いたします。

演題 元気で長生きへのみちしるべ
講師 人間総合科学大学 教授 熊谷 修さん

日時 平成20年1月27日(日) 午前10時から

場所 蓮田市役所

※手話通訳、託児あり
詳しいことが決まりましたら、「広報はすだ」でお知らせいたします。

問合せ 総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

ビデオテープ貸出し

個人・団体に貸出しています。

- ならんで一緒に歩きたい 男女共同参画社会づくりに向けて 16分
- 21世紀はみんなが主役 男女共同参画社会基本法のあらまし 23分
- 地域こそ子育てを！ 薬丸裕英が聞く樋口先生の育児支援ガイド 28分
- ドメスティック・バイオレンス 家庭内における女性と子どもへの影響 25分
- ドメスティック・バイオレンス どうして私を殴るのですか ～妻や恋人への暴力は犯罪です～ 25分
- 虐待！夫からの暴力04 あなたは悩んでいませんか？ 30分
- 広がる未来！私が選ぶ チャレンジする女性たち 29分

問合せ 総務課人権担当 ☎768-3111 (内線296)

ご意見をお寄せください

「はすてる」では、皆様のご意見を募集しています。今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見・感想などをお寄せください。また、男女共同参画全般に関するご意見もお待ちしております。

問合せ・おてあ

〒349-0193 (住所不要)
蓮田市役所総務部総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

編集員紹介



門田 悦子 木村紀由美
郡司富美子 佐々木伸子
澤田 喜子 和田 文夫
(50音順)

編集後記

「はすてる」の作成にあたっては、市内の介護施設、自宅介護者、市民活動団体、蓮田高校の先生、生徒の皆さんに取材のご協力をいただき有難うございました。

生徒が介護施設でお年寄りのシーツ交換をした時、「ありがとう」と感謝される程に成長した生徒を見て感動しました。皆さんのやさしい心になれることができました。

「はすてる」とは？

子どものころから女はピンク、男はブルーと従来の固定観念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色が選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、やわらかい中間色という意の「はすてる」としました。

はすてる

思いやり ささえあい



蓮田市男女共生情報誌
第9号. 2007.12

発行/蓮田市役所総務部総務課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1 ☎048-768-3111 内線296

この印刷物は古紙配合率70%の再生紙と環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています



介護

心の準備は
できていますか？

高齢化だけでなく事故や病気など、いつ直面するかわからない介護。介護士さん、介護の体験者にお話をお聞きしました。一人ひとりがどのような心構えをし、向き合えばよいのでしょうか。

施設での介護

施設ではどんな仕事をしていますか？

- その人に合った介護を心がけ、イベント・行事の企画をし、暮らしやすいように配慮しながら入所者の日常生活のサポートをしています。(坂本さん)
- ケアマネージャーとして健康管理、行事や散歩、クラブ活動など介助全般の仕事をしつつ、職員の指導もしています。(内山さん)
- 介護職・ケアワーカーとして入所者の日常生活のサポートをしています。心と心のふれあいもあり、やりがいを感じながら仕事をしています。(内田さん)



蓮田園 (はすだえん)
内山 久代さん 田原 淳一さん



吾亦紅 (われもこう)
大須賀弘子さん 内田 享さん



翔裕園 (しょうゆうえん)
早川 正輝さん 坂本 和恵さん



今の仕事で、異性の協力を得たいと思うことがありますか？

- 一般業務では特に男女の区別はありません。身体の大きな利用者の方の介護など力仕事の分野では男性の力を借りたいこともあります。(大須賀さん)
- いつも同じ業務をしているので特に意識せず普通に対応しています。利用者にとっては生活の場なので、男女両方の職員が必要です。(田原さん)
- 女性の入所者には女性の方がよいことがあり、力仕事には男性が向いているようです。また、イベントの企画にはそれぞれの個性・感性が活かされます。(早川さん)

より良い介護サービスにするためには？

- その日の状態などの情報交換をしたり、職員間の協力が必要です。勉強会などで知識の交換も心掛けています。「その人らしく生きる」サポートができるように介護をしたいです。(大須賀さん)
- よい関係をつくるため各職員が声かけ・話しかけを心掛け、情報を共有し、いろいろな意見を聞いて対応するようにしています。(早川さん)
- 介護者に余裕やゆとりがないと、よりよいサービスの提供ができないので、ストレス解消・健康管理を心掛けています。(内山さん)
- 介護はチームワークでの仕事、体力を維持し、自己管理をして良い状態で利用者に接しています。(田原さん)



家庭へのアドバイス

- 老いのスピードは本人の認識より進んでいます。押し付けにならないよう声かけ、手伝いなどさりげないサポートをしてあげてください。(内田さん)
- コミュニケーションをしっかりとってください。一緒に楽しめるように、笑顔で対応しましょう。みんなで支えることも大切です。情報の共有も忘れずに。(坂本さん)



特別養護老人ホーム 蓮田園	特別養護老人ホーム 吾亦紅	老人保健施設 蓮田ナーシングホーム 翔裕園
所在地 蓮田市大字江ヶ崎1003	所在地 蓮田市大字間戸1885	所在地 蓮田市大字間戸1826-1
設立 平成元年12月	設立 平成9年3月	設立 平成9年9月
定員 特別養護老人ホーム：54人 ショートステイ：16人 デイサービス：20人	定員 特別養護老人ホーム：80人 ショートステイ：10人 デイサービス：40人	定員 入所サービス：100人 デイケアサービス：40人

家庭の状況にあわせて種々のサービスを利用することができます。
遠慮なくご相談ください。

介護保険の総合窓口	蓮田市役所 介護保険課	☎048-765-1716
高齢者の介護・福祉・医療 などの総合相談	南地域包括支援センター (市役所内)	☎048-765-1735
	北地域包括支援センター (社会福祉協議会内)	☎048-769-7111

*南と北の地域包括支援センターでは、担当地区が異なりますので、事前にお問い合わせください。

家庭での介護

赤松 清さん、光子さんの場合

夫の母親を1998年から2年間ほど介護しました。場所が近かったこともあり、次男である夫が引き取りました。



家族の介護への手伝いは？

兄弟、親戚、家族の協力のもと、みんなが精神的な面と金銭的にも支えてくれました。特に息子が介護の苦労話や愚痴などを聴いてくれたので、夫に当たらずに済んだかもしれません。

相談した相手は？

夫の兄（医師）や音楽を通じて知り合ったT医師です。

家族内での情報交換を密にしました。

介護の中でうれしかったことは？

普段はあまりほめたりしない夫が「ママのおかげで母親の介護をつとめることができた。ありがとう」と言ってくれたときは、心の底からうれしく思いました。

それを機に夫が優しくなったので、とても感謝しています。

つらかったことは？

精神的に不安定になり、人にあったり腹が立ったりしたときはつらいと感じました。また、いつまで介護が続くのかと不安にかられました。

四六時中、目が離せなく、緊張が続いていました。

- 短時間でも見てもらえる知り合いや気楽に頼める人が身近にいると良い。
- 気分転換や自分のごほうびを買ったり、自分をほめること。
- 介護者への精神的なサポートをしてほしい。
- 1時間でも自分だけの時間を持つ余裕があると良い。

坂井田和江さんの場合

結婚以来、一緒に同居していた夫の父親の介護をしました。71歳まで東京に仕事に行っていて、仕事を辞めてしばらくたってから認知症のため日常生活がだんだんできなくなってきました。約7年間、介護をしました。



家族の介護への手伝いは？

もともと同居をしていたため、私が主に介護をしました。施設に入れるのには抵抗を感じたし、自分が逃げているような自責の念にかられ、最後まで介護しようと決意しました。夫や当時中学生の娘も協力してくれました。

相談した相手は？

デイサービス、ショートステイでお世話になった蓮田園の人にいろいろなことを相談しました。教訓めいたことは言わずに自分の立場に立って話を聴いてくれ、気分を楽にさせてくれました。

介護のなかでうれしかったことは？

最後に夫が、きちんと感謝の言葉を「長い間ありがとう。ご苦労さま」と言ってくれたことです。娘がオムツ交換をしてくれた時！得がたい人生経験をさせてもらいました。

- 介護する側の怒りや喜びの感情が介護される側に伝わることを知りました。
- 家族での介護とお願いする施設とコミュニケーションがうまくいっていると介護の負担が軽減される。それは介護される人にも伝わる。
- 家の近所の人にも状況を話していたので、お風呂で湯船から出られなくなったときに助けられました。
- 家族やまわりの方たちの精神的な支えがあったから長い間の介護に耐えられたと思います。

学校での介護

いま、高校生はボランティアに目覚めています

蓮田高校福祉体験

平成19年9月27日(木)午後1時から蓮田園で、埼玉県立蓮田高校3年生6人(女子4人、男子2人)が介護実習の一環として落ち葉拾い、草取りをしました。その後、介護の実習について意見や感想を聞きました。



しつもん1

介護、ボランティア実習の感想について(大変だったこと、喜びを感じたこと等)

- お年寄りがやさしかったです。
- 話すことが楽しかったです。
- 「ありがとう」と言われるとすごくうれしいです。
- シーツ交換が大変でした。

しつもん2

介護は、女性、男性のどちらが向いていると思いますか？

- どちらとは言えないと思いますが、女性に向いている仕事と、男性に向いている仕事があります。
- なりたい人なら、どちらとも関係ないと思います。
- 心の広い人なら向いていると思います。

しつもん3

介護は女性と男性の役割分担をどのようにしたら良いと思いますか？

- シーツ交換が女性、男性は起こしてあげたり、車いすに乗せてあげる。
- 男性は、女性の大変な部分を助ける。
- 役割分担を決めなくても良い。
- 男性は力仕事、女性は女性らしい仕事を。

しつもん4

将来、介護の仕事をしたと思いますか？

- できたら、将来介護・福祉の仕事に就きたいと思います。
- 介護の仕事をしたと思います。
- まだ、どちらとも言えません。
- 福祉の仕事をしたい。
- 仕事ではなく、個人的にお世話をしたい。

街でひろったひとこと

「お世話になるね。ありがとう。」のひとことがあるとほっとします。

社協で車いすをお借りできて、とても助かったわ。

「元気？」の電話でおばあちゃんは元気になるのよね。

誰が面倒をみるか、ではなく、母がどこに行きたいかを尊重しました。

月に1回、土曜日の通院には夫が付き添いを担当してくれます。

週1回デイサービスを利用するようになって、介護する側に少し余裕ができました。

週2~3回、実家に通っています。ひとり暮らしの父はその時は食事が進むみたい。

幸の会

幸の会は、昭和63年に蓮田市教育委員会が開催した大正琴の講座がきっかけで、受講者30人（女性27人、男性3人）で設立された会です。

講座後も練習を続けながら、活動の成果を地域の活性化につなげたいと考えており、老人福祉センター、市のイベント等での演奏活動を続けてきました。

会員の技術の向上に努めており、演奏活動を通して文化の向上をも目指しております。



女性、男性どなたでも…。一人で弾いても楽しく、二人以上でのアンサンブル合奏は楽しさも増します。関心を持たれましたら、ぜひおたずねください。

あなたも 地域デビュー してみませんか？

一団塊世代の 地域デビュー

団塊の世代へのアドバイスは、まず一步を踏み出してほしい。楽しいことが前提です。イベント、趣味の会、団体の活動などをのぞいてみて、雰囲気をつかんで決めてみるのも良いと思います。

NPO法人市民プロジェクト はすだ 宮島速彦さん

活動をはじめたきっかけは、市民プロジェクトはすだの設立総会に出席したのがきっかけです。退職後2年経過して、介護や日本語教師など勉強しましたが、何か社会に貢献したいと思っていたところでした。

地域活動は楽しいからやっているのですが、あまりやりすぎるとスケジュールが重なって中途半端になってしまい、申し訳ないと思っています。

NPO法人市民プロジェクトはすだは、蓮田市内の市民活動団体と市民をつなぐために、100団体以上の活動状況のデータベース化を行っています。また、市民活動フォーラム、市民活動展、パソコン講座、親子ふるさと学校などさまざまな活動を行っています。

蓮田シニア生き生きクラブ 金子征雄さん

定年前から蓮田シニア生き生きクラブに入会していました。62歳で定年退職した時に、ボランティアをやってみないかと会長から言われたのが活動を始めたきっかけでした。

今は東埼玉病院で重症児者病棟の患者が使っている車いすの掃除をしています。また、特別養護老人ホームで施設の利用者と文部科学省唱歌（旧文部省唱歌）や懐かしのメロディを合唱して、皆さんに喜んでいただいています。

ボランティアは、お互い様の気持ちで助け合うことが大事だと思います。



活動について、慣れないのでいろいろなことを家族と話します。わからないことが多く、家族が相談にのってくれるので助かっています。

赤松 清さん

会社在职中にもいろいろな音楽活動にかかわり、定年後も川越フィルハーモニー管弦楽団等に所属し、演奏活動を続けています。

地域デビューについては、定年退職を迎える前に準備をしておく、生き生きとした第2の人生を楽しめると思います。



在职中にできなかった趣味を定年後に実現できて良かったと思います。